

6月19日(日)

天然本鮪入り

おとんもり



1パック

2,000円(税込)



西田鮮魚店

☎72-5246

御用聞き便 (旧庄原市内はご自宅に配達) 専用番号 ☎090-7125-5489

お母ちゃんの事を凄く大事にしている、ときどき孫にいじられ嬉しそう。どんな時も家族を守ってくれている。もともと長生きしてね。りっぱな目標それが親父です！

今日は父の日、私の父へ「おとんもり」の言葉を使い、あいうえお作文作ってみました。本当に私にとってできた父親です。大人になった私たち兄弟や、家族を今でもずっと守ってくれています。昔は怒ると怖い親父でしたが、今では孫にいじられては嬉しそうにテレビとしております。

三男に産まれた私は、昔から手のかかる息子で、幾度と無く迷惑を掛けながら育ちましたが、そんな私を一度も見放した事がなく、ピンチの時にはいつも助けてくれる。私のなかで無敵のスーパーマンみたいに思っています。そんな父も、今ではすっかりおじいちゃんになり、やれ足が痛い、腰が痛いと言いながら農作業しております。

仕事を引退した父は、今でも家族が美味しいお米を食べられるようにと、悪い視力と慣れない作業を手探りで、朝から晩まで頑張っています。本当家族を愛してんだな〜と思わされてしまいます。

そんな父は、食べるのが大好きなので、美味しい魚を持って帰るととても喜んでくれるんです。父の笑顔を見たくて、今日は本鮪入りの少し豪華なおとんもりを渡したいと思います。

ちなみにこの前部屋でテレビを見ていると、娘と嫁の会話が聞こえて来て「母の日のプレゼントは直ぐ決まるけど、父さんなにあげたらいいか解らんわ!」聞かされたのが気まずくなりました(笑)。

西田鮮魚店 主任 奥原 歩久斗

父の日に『父と映画とトップガン』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史

『トップガン マーベリック』を見ました。超絶、おもしろかった。ぶっとんだ。

1986年の第一作から36年ぶりらしいのですが、一作目の時はテレビで見ましたから、普通におもしろかった。ところが、リバイバル上映を劇場で観て驚きました。たしか70ミリの大画面でした。ジェット機の音と映像の迫力の次元がまったく違いました。そして、テレビで見るより100倍おもしろかった。主演のトム・クルーズも、こちらは2倍かっこと知ったような一昨年だったか、『トップガン』の続編が作られると知ってわくわくしながら待っていました。コロナ禍もあり、延期に延期を重ね、やっと5月27日に劇場公開。

また70ミリよりさらに大きく、音響効果抜群のIMAXは『トップガン』のためにある。それ以外では見ないと固く心に誓って。そしてIMAXで観ました。いきなり引き込まれました。そして、最後の最後まで……。

ネタバレは厳禁だから触れませんが、ストーリーには関係ないから書きます。007でおなじみのシヨーン・コネリーの娘のジェニファー・コネリーがポルシェ911にもたれかかるシーンが、言いようのないほど素敵でした。

ぜひ、ソレイユまで足を伸ばし、IMAXで『トップガン マーベリック』を見てください。60才以上は1700円。普通の映画より500円ばかり高いけど、そこは惜しまずに。

予告編で『アバター ウエイ・オブ・ウォーター』が今年12月に公開されると知りました。こちらの一作目も熱狂しました。IMAXで観る映画ですね。

アメリカって国はスゴイです。こんな映画が次々と作れるのだから。プーチンも映画で覇権国家を目指せばロシアも尊敬されるだろうに……。

西田は日本映画は見ないとか誤解する友人もいますが、映画ファンとして聞き捨てなりません。

松坂桃李と広瀬すずの『流浪の月』よかったですよ。

さて、私の映画好きはどこから来ているのか。間違はなく父です。子供の頃いつも一緒に映画に連れてつてくれました。

私の記憶の中で最も古い映画は片岡千恵蔵が大石内蔵助をやった『忠臣蔵』（昭和34年）。ヘミングウェイ原作の『老人と海』（昭和35年）。確か、『新栄座』の、暈が敷かれた二階席で見たような……。今、公開年を調べると小学1年から2年の時です。『忠臣蔵』はともかく、「老人と海」は難しすぎでしょう。子供が出ていたから良いと思っただけかもしれません。海に浮かぶ小舟におじいさんと少年が乗っていた映像だけが頭に残っています。

小学生の私は、東映の時代劇が大好きでした。なかでも『新吾十番勝負』。子供心に自分の出自で悩む大川橋蔵がせつなくて。『ラッキー劇場』で見ました。私の映画の原点は『ラッキー劇場』です。

庄原駅の近くに新しくできた『伍楽荘』は魚を納めていた関係もあって、私の家の外壁に映画ポスターが貼られるようになりました。小林旭の『渡り鳥シリーズ』のポスターの絵が脳裏に焼きついています。

映画全盛でした。映画館の混雑ぶりと煙草の煙。売店のキャラクター。ワクワクでした。

あのころは、2〜3本立て。途中から入っても大丈夫でしたね。父は、いつも前から2〜3列目の席。前すぎて見にくいと子供ながらに思っていました。今の私が、まさにそう。映画好きは、前に坐るのです。すると、映画の世界に入り込みやす

いから。

一度、映画館に置き忘れられたことがあります。『ラッキー劇場』でのことです。

映画が終わって外に出て、たくさんの人が周りにいるのに、父と母もいなくて自分一人だとわかった時の心細さ。私は泣き出してしまいました。我が家は西浦でしたから、すぐそこではあるのですが、何才だったのか。母がいれば、こんなことにはならないでしょうから、父だけだったのでしよう。

一度、父と母が映画を見に行き、幼い子供4人で留守番。泥棒に入られ、騒ぎになったことも。何日かして、金庫が、今は無くなりましたが、庄原グランドホテルの駐車場の辺りにあった小さな池に捨てられていたということもありました。

そんな父も、私が中学生になったころから映画を見に行くことがなくなりました。40代です。私も40代から50代後半まで映画から離れていました。仕事で、それどころではなくなりました。私が再び、映画を見るようになったのは60才の頃。57才で他界した父ですから、もう少し長生きしていたら、また、映画を見るようになったかもしれない。今の私のように。

私の心残りには、父と言葉を交わすことが少なかったこと。大人になって、映画の話題で、あれこれ話すことができたかもしれません。残念です。

先日、長男と次男、そして次女の婿と4人で会食しました。皆、我が社で仕事をしています。

そして、4人とも酒が強い。子供の頃のこと、会社のこと。酔うほどに盛り上がりました。子供たちは、さほどでは無かったでしょうが、私には至福の時間でした。酒を飲めなかった父とは、こんな時間を持つことがありませんでした。

(ここから宣伝が入ります。)

父の日の今日の西田鮮魚店の広告の品は『日本海の天然本まぐろの入った刺身の盛り合わせ』。

ぜひ、お買い求めください。ただし、お気をつけください。この刺身がお父さんへの贈りものではありません。お父さんの一番の喜びは、家族とのだんらん。刺身は、だんらんを彩る素材のひとつ。間違っても、お父さん一人で晩酌などということの無いように……。

子供たちとの会食の時。飲み始めてすぐ、彼らに話しました。「トップガンが最高におもしろいで。ソレイユのIMAXで見るといいよ。絶対に見いよ。」

